

行政課題の解決策を持つスタートアップを募集中!!

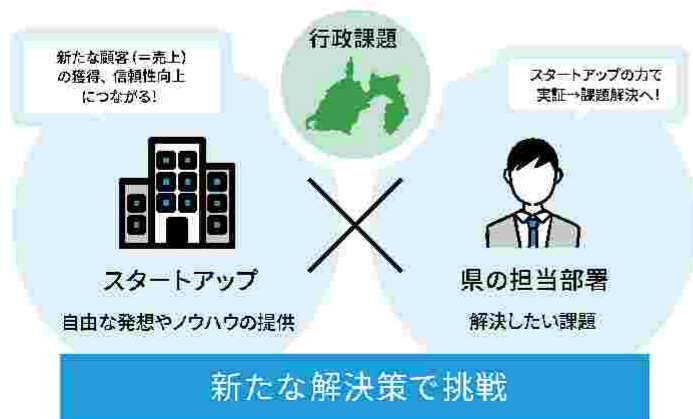
静岡県スタートアップ 公共調達モデル創出事業



ABOUT

静岡県スタートアップ 公共調達モデル創出事業とは？

静岡県が抱える行政課題とスタートアップとのマッチング、実証実験、効果検証というサイクルを構築し、県庁自身が「顧客＝ファーストカスタマー」となり得る環境を整備することで、“県庁における新たな公共調達モデルの創出”につなげる事業です。



テーマ説明会開催

開催日時 令和7年10月7日(火) 15:00
(1時間程度)

概要 本説明会では、各課が設定した課題テーマの内容や、応募方法・審査の流れ等についてご説明いたします。

会場 オンライン開催(ZOOM)

対象 静岡県の行政課題に関心があるスタートアップ、応募条件に適したスタートアップ

参加費 無料



参加お申し込みはこちら

PROJECTS

募集テーマ



交通基盤部 地域交通課

テーマ 顔認証技術を使ってバスの乗降データを取得したい

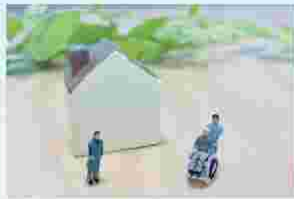
内容 データに基づく路線最適化・サービス改善で公共交通の利便性向上と持続可能性を実現する。



総務部 広聴広報課

テーマ 県民対応業務の属人化・非効率性から脱却し、誰もが対応しやすい窓口業務を構築したい！

内容 誰でも対応可能な仕組みで心理的負担を軽減し、迅速・的確な県庁窓口を実現する。



健康福祉部 介護保険課

テーマ ケアマネジャーの資格更新をデジタル化でスムーズに

内容 資格更新をスムーズに行えるようにすることで、離職防止を図り、介護人材の確保・定着を実現する。



くらし・環境部 生活環境課

テーマ 浄化槽維持管理をデータで見える化する仕組みをつくりたい

内容 現場の負担を増やさず維持管理情報を集約し、行政業務の効率化と環境施策の高度化を実現する。



財務部 税務課

テーマ 自動車税の身体障害者減免申請のユニバーサル化

内容 申請者に適した申請方法を確保し、職員は審査やサポート業務に注力できる環境にする。また、電子申請の普及と管理業務のデジタル化でミス・負担を大幅削減することに繋げる。

SUMMARY

募集概要

募集期間

令和7年9月22日(月)～11月4日(火)

募集対象

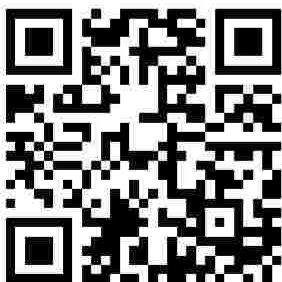
全国のスタートアップ(設立から概ね10年以内の中小企業)

応募方法

専用サイトの応募フォームからお申し込みください。

実証経費(令和8年度)

1テーマあたり **最大500万円を県が支出**する予定です。



※実証実験に要する経費が上限を超える場合、超過分は採択スタートアップの自己負担となります。
※県が採択スタートアップとの委託契約を締結することで、実証実験及び効果検証を実施することを想定しています。
(※経費の負担や契約に関しては県の令和8年度当初予算成立を条件とします)

↑ 詳細・応募は専用サイトから

<https://jellyware.jp/shizuoka=supublic>

FLOW

全体の流れ



STEP 01 エントリー

静岡県庁の各課が抱える行政課題(募集テーマ)の解決に取り組むスタートアップを募集します。各テーマの内容をご覧ください、専用サイトの応募フォームからご応募ください。



STEP 02 一次審査

応募いただいた情報をもとに、事務局とテーマ担当部署が審査を実施します。審査の実施にあたり、個別に応募内容の確認を行う場合があります。



STEP 03 二次審査

一次審査を通過したスタートアップを対象に、外部有識者等で構成する審査員がオンライン面接による審査を実施します。



STEP 04 採択

二次審査の結果、採択されたスタートアップには、採択決定の通知をメール等により行います。



STEP 05 実証実験プランの策定

担当部署と採択スタートアップ等による打ち合わせを実施し、実証実験プランを策定します。

※実証実験/効果検証実施期間：令和8年度中